

《第 56 号》「グリコン道は険し!」

若月 壽子(主婦連合会)

グリコンの端くれとして、詰め替えを使うのは手軽にできることのひとつです。

ジャンパーやコンディショナーでは一般的ですが、現在使用中のそれは、新発売の際はなぜか詰め替えがなくて買うのをやめました。随分時間が経って、詰め替えが販売されるようになり「やっと!」と思ったことを思い出します。ただ時々シャンプー & コンディショナーのセット売りで詰め替えを買うより安いことがあり、暫し葛藤。なんとか「環境」が勝ち余分な容器は買わないことに落ち着きます。

ところが、インスタントコーヒーとなるとそうはいかなかったのです。

一時よく買っていた品は詰め替えがあつて是非活用したいと思うものの、これが何故か割高。詰め替えなのに…。かつスーパーでは時折びん詰めを特売するので、価格差が大きく詰め替えに手が伸びません。エコミー強し。私のグリコン度は底が浅いと自分にかっかりする瞬間です。

メーカーのHPをみると、定価ベース(これが俄かには信じられないほど高い)ではややお得になっていたのですが、現実にはスーパーにありました。詰め替えを手にとっている人を見たことがないけれど、売れているのかしらん? メーカーは売る気があるのかしらん? と常に思っていました。

最近では買わないので個人的葛藤は終わりましたが問題はそのままに違いないと思い、久し振りにインスタントコーヒー売り場をのぞいてみました。するとよく使うスーパーの一つで変化が起こっていました。おなじみのサイズの売価が千円越え。HP記載の定価と近く詰め替えに割安感が出ているではありませんか。珈琲豆価格高騰の影響か? 喜んでいいのか、悲しむべきか、訳わかんない状況になっているのです。

以上